

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

十六銀行の地域密着型金融推進に関する基本方針

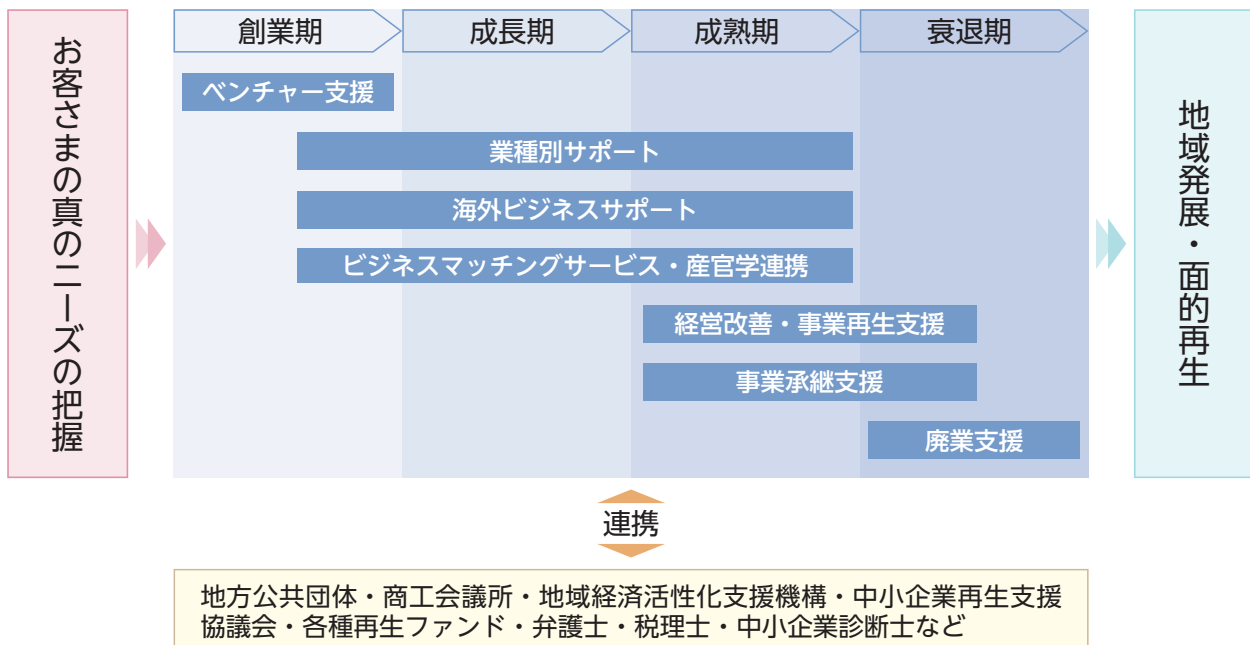
基本的な取組方針

地域金融機関の最大の競争力は、質の高いリレーションシップを通じて地域のお客さまの真のニーズを把握し、そのニーズを満たす最も適切な金融サービスを提供していくことにあります。地域密着型金融の強化は、まさしく地域金融機関としての競争力の強化であり、地元中小企業の支援・育成、地域経済への貢献等は、十六銀行の経営基盤強化そのものであります。

地域金融機関である十六銀行が、地域経済の発展と自らの収益向上をはかるために注力すべき手段としては、引続きリレーションシップ機能を強化していくことが極めて重要であることから、今後においても、地域密着型金融の取組みを経営の柱として位置づけ、地域に根ざした経営を実践してまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した、持続可能な地域経済への貢献

中小企業の経営支援にかかる態勢



経営者保証に関する取組方針

十六銀行は、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨・内容を踏まえ、ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備して、金融仲介機能の発揮および金融円滑化の促進に向け、真摯に取り組んでまいります。

基本方針

ご融資に際しては、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨・内容を踏まえ、経営状況や成長可能性などを適切に評価し、必要と判断した場合は、経営者保証の受入れを検討します。

中小企業の経営支援及び地域の活性化に関する取組み状況

●ライフサイクルに応じた取引先の支援

(1)【創業期】創業・ベンチャー支援に関する取組み

「NOBUNAGA21」によるベンチャー支援

2024年7月12日、「NOBUNAGA21」は、STATION Ai株式会社とともに、「Encounter Day」を開催いたしました。

今回は、スタートアップ企業6社によるピッチに加えて、「ピックルボール」をコミュニケーションツールとしたビジネス交流会を初めて開催いたしました。

当社グループでは、従来の形式に捉われず、多様な交流の場を設けていくことで、イノベーションの創出を目指してまいります。

「NOBUNAGA21」とは・・・

2000年に発足した全国初の民間主導によるネットワーク型ベンチャー支援組織

運営メンバーは下記の3社で構成



十六銀行

NOMURA

Deloitte
デロイト トーマツ

NOBUNAGAキャピタルビレッジによるスタートアップ・ベンチャー投資

2024年6月21日、NOBUNAGAキャピタルビレッジの出資先である「株式会社MFS」が東京証券取引所グロース市場へ上場を果たされました。これは、当社設立以降、初となる出資先の新規上場（IPO）であります。

「株式会社MFS」は、日本初のオンライン型の住宅ローンサービス「モゲチェック」をはじめとした、住宅ローンユーザーと金融機関を効率的に結びつける新しいフィナンシャルサービスを提供しております。

今後も、成長が期待できるスタートアップへの投資を通じて、十六フィナンシャルグループとの共創によるシナジーを発現させ、地域社会の持続的な発展や、地域経済の活性化に貢献してまいります。



◆ 十六銀行が関与した創業支援件数

	創業支援件数
2024年9月期	685件

(2)【成長期】人材紹介に関する取組み

十六総合研究所によるIT人材紹介サービスの新たな展開

近年、DXへの機運が高まるなか、社会全体としてIT人材への需要が急速に高まっており、IT人材不足は深刻化しております。

こうしたなか、当社グループでは、2024年6月28日、グループのシンクタンクである十六総合研究所が、ネパールのIT人材に特化した人材紹介サービスを提供する南海電気鉄道株式会社と、業務提携を締結いたしました。

ネパールは、インドや中国、ベトナム等に続くIT人材の輩出新興国として、近年注目を集めております。本提携により、IT人材を必要としている地域のお客さまに、ネパールの優秀なIT人材のマッチングなどの支援を展開してまいります。

当社グループでは、地域のお客さまの人材不足を解消し、経営力を向上させることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。



◆ 地元・地元外別の販路開拓支援を行った先数

	地元	地元外
2024年9月期	163先	163先

◆ ビジネスマッチング

	商談件数
2024年9月期	975件

◆ サプライヤー探索サービスによる取引先の本業支援件数

	開催回数・延べ商談数
サプライヤー探索サービスの商談会開催回数	5回
サプライヤー探索サービスの延べ商談数	75件

◆ 人材紹介人数

	人材紹介人数
2024年9月期	69名

(3)【成熟期・衰退期】事業承継・M&Aに関する取組み

NOBUNAGAサクセッションによる経営承継支援の積極的なサポート

NOBUNAGAサクセッションでは、後継者不足に直面する地元企業の経営承継を積極的にサポートするため、岐阜市信用保証協会や名古屋市信用保証協会、岐阜県山県市・山県市商工会と事業承継支援に係る業務提携を締結いたしました。

本件により、提携先が企業の売却ニーズをヒアリングした場合、NOBUNAGAサクセッションへ情報提供することで、買収を希望する企業とのマッチングが可能となります。

また、2024年5月21日・22日、十六フィナンシャルグループと株式会社日本M&Aセンターホールディングスとの共催により、大垣市・岐阜市・土岐市の3か所で「経営承継セミナー」を開催いたしました。当日は、株式会社日本M&Aセンターホールディングスの代表取締役社長である三宅卓氏を講師としてお招きするなか、3か所で計70社を超えるお客さまに参加をいただきました。

地域企業の後継者不足が深刻化するなか、当社グループでは、経営者が抱える経営承継の悩みに寄り添い、熱意と使命感をもって業務に取り組むことで、最善の解決策を提供してまいります。



◆ 経営承継支援件数

	相談件数	(うち譲渡)	(うちアドバイザー契約)
2024年9月期	320件	210件	24件

● 事業価値の見極めと適切な融資対応

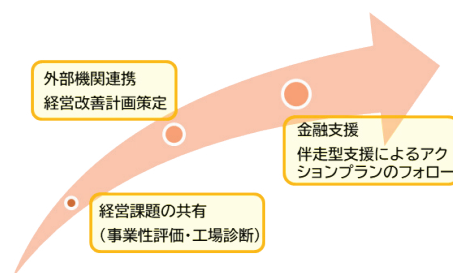
【事業性評価ならびに経営改善支援に関する取組み】

事業性評価を活用した外部機関との連携による伴走型支援の事例

コロナ禍におけるグループ会社の整理、および新規ビジネスの不採算化により業績が急速に悪化した取引先に対し、メイン行として事業性評価や工場診断を実施したうえで金融機関協調体制の構築と事業再生支援に取り組みました。

事業性評価の実施により経営課題を共有したうえで中小企業活性化協議会および外部コンサルタントと連携し、ビジネスモデルの再構築を含む抜本的なアクションプランを示した経営改善計画を策定いたしました。その結果、取引金融機関の足並みを揃えた金融支援を実現することができました。

今後もアクションプランに沿った収益性改善と地域の雇用維持に向けた取組みに対し、伴走型の支援を継続してまいります。



● 地域の情報収集を活用したまちづくり

【出資や課題解決に向けた取組みにより地域の活性化（まちづくり・にぎわいの創出）に貢献】

産学連携による地域の課題解決実現に向けた活動の展開

2024年5月21日、十六銀行は、株式会社下平と朝日大学との産学連携において、学生と協働した新商品「お悩み解消服」の発表会を開催いたしました。

十六銀行の取引先企業である株式会社下平より、消費者が求めるデザインや機能性を有する新しい衣服を企画するにあたり、新たな視点を得たいとの相談を受け、2017年6月より産学連携に関する協定を締結している朝日大学を紹介したところ、本商品の発表にまで至ることができました。

また、同日より、カンダまちおこしが手掛けるローカルクラウドファンディング「OCOS (オコス)」にてプロジェクトを開始いたしました。

引き続き、当社グループは、総合金融グループ機能を最大限に発揮するなか、地域企業や各大学、関係機関との連携を通じて、地域の課題解決の実現に向け、産学連携の取組みを積極的に展開してまいります。



● 経営者保証に関するガイドラインの活用状況<2024年度 上期実績>

項目	件数
新規融資件数	9,025件
内、経営者保証に依存しない融資件数(割合)	5,201件(57.63%)
保証契約を解除した件数	512件